

# B型肝炎の精密検査を受けましょう

あなたは、肝炎ウイルス検診の結果、「B型肝炎に感染している可能性が高い」と判定されました。あなたの健康のためにとっても大切なことですから、精密検査を受けて下さい。

## Q1 「B型肝炎に感染している可能性が高い」とはどういうこと？

「B型肝炎に感染している可能性が高い」ということは、B型肝炎を引き起こすウイルスが体の中にいる可能性が高いということです。B型肝炎ウイルスに感染すると、約15%が慢性肝炎になり、さらに知らない間に、肝硬変や肝がんに進化する場合があります。今は自覚症状がなくても、あなたも下の図のいずれかの段階になっている可能性があるということです。



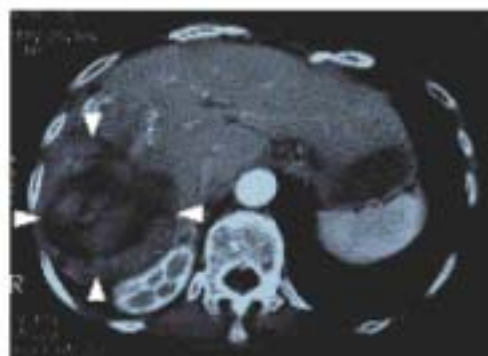
## Q2 精密検査では、どのような検査をするの？

精密検査では、血液検査と超音波検査(エコー)をします。血液検査では、肝機能(GPT、GOTなど)、ウイルスの活動性などを調べます。超音波検査は、おなかの表面から超音波をあてて肝臓の状態をみる検査です。

場合によっては、CTなどのレントゲン検査を行います。

## Q3 自覚症状がないから、精密検査をしなくても大丈夫じゃないですか？

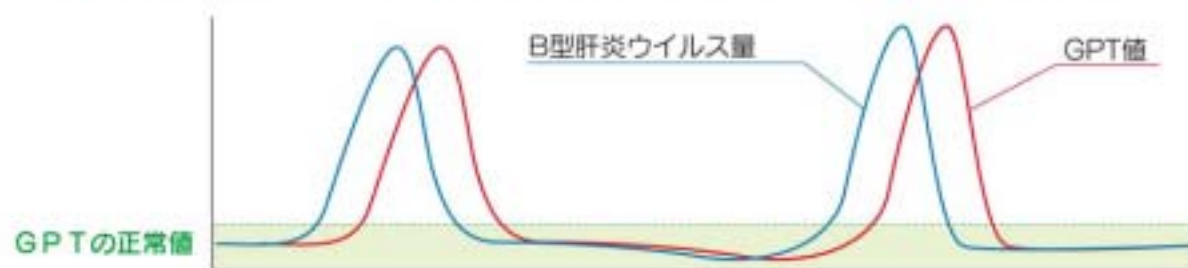
肝臓は“沈黙の臓器”といわれています。肝硬変や肝がんになっていても、症状がないことが多いのです。今回の検診で「B型肝炎に感染している可能性が高い」とわかったのに、自覚症状がないという理由で精密検査を受けないと手遅れになるかもしれません。



10cm大の肝がんでも自覚症状が無いことがあります

## Q4 肝機能が悪くないのに定期検査を受ける必要がありますか？

慢性B型肝炎の人は、肝機能(GPT、GOTなど)の値が正常と異常をくりかえす場合があります。ウイルスがいるといわれたけれども、肝機能が正常だから大丈夫というのは誤りです。肝機能が正常であっても、ウイルスがいる限りは、知らない間に肝硬変や肝がんに進むことがありますので、最低でも半年に1回は定期的な検査を受ける必要があります。



慢性B型肝炎では採血する時期によって肝機能が正常値になったりします

## Q5 他の人にうつさないために、日常生活で気をつけることはどんなこと？

次のことを守っていれば周囲の人への感染はありませんので、日常生活で神経質になる必要はありません。

- 1 カミソリや歯ブラシなどの共用は避けましょう。
- 2 血液や分泌物がついたものは、くるんで捨てるか、洗い流しましょう。
- 3 けが、皮膚炎、鼻血などは、できるだけ自分で手当しましょう。
- 4 乳幼児に、口うつしで食物を与えないようにしましょう。
- 5 献血はしないようにしましょう。

## Q6 治療は必要ですか？ 治るんですか？

精密検査で肝臓の状態がどうなっているかを調べてから、治療が必要かどうかを決めます。慢性肝炎で肝機能が異常とわかれば、肝硬変や肝がんにならないようにするために治療が必要です。最近では飲み薬で特効薬が開発されました。B型肝炎ウイルスが消えてしまうことは稀ですが、肝硬変や肝がんになることを防ぐことができます。慢性肝炎で治療も検査も要らないということはありません。

**病気のことでわからないことがありましたら、  
主治医または市町村保健師に御相談ください。**

### 【お願い】

市町村保健師が、今後も年1回程度、検査や治療についての悩みをうかがい、ご支援をさせていただくために、連絡をいたします。御了承下さい。

**石川県肝炎対策検討会**  
事務局 石川県健康福祉部健康推進課  
TEL. 076(225)1436